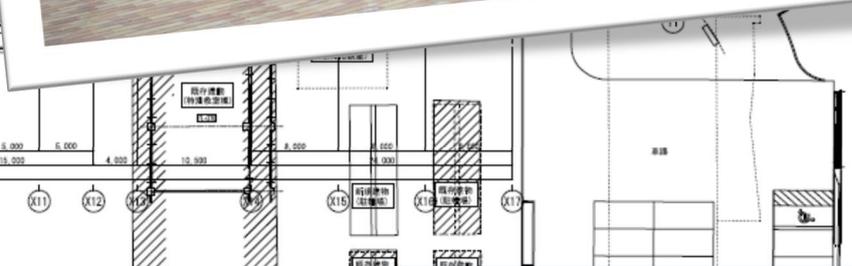
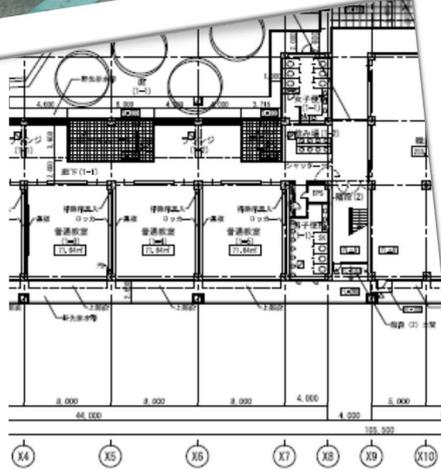


2019

# 榛東村学校教育施設の長寿命化計画

(学校教育系施設・子育て支援施設)



平成31年3月

榛東村教育委員会事務局

## (1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

### ① 背景

榛東村の学校施設は、昭和 40 年代後半から 50 年代にかけての児童生徒の急増期に、整備されたものが多く、老朽化した木造校舎を鉄筋コンクリート造に建替え、必要な教室の確保に努めてきました。その後、全国的にも昭和 60 年代以降の児童生徒の減少期を経て、現在では適正規模・適正配置による学校の統廃合が検討されるなど学校を取り巻く状況は大きく変化をしています。

こうしたなかで、本村では平成 24 年度に榛東中学校の校舎の建替えをしていますが、昭和 50 年代以降（昭和 53 年度に南小学校の校舎、昭和 57 年度に北小学校の校舎）に建設された学校が築年数 30 年以上を経過し、一斉に建替時期を迎え、老朽化対策が必要になっています。

今後は人口の減少が予測されており、少子高齢化の進展による人口構造の変化として、年少人口及び生産年齢人口が減少し、老年人口が増加していく傾向が推計されています。

この人口構造の変化により、本村の財政の歳出面では社会福祉関連分野が増加し、歳入面では人口や生産年齢人口の減少による税収の減少といった影響をもたらすことから、一層厳しい財政状況となることが予想されます。

数多くの施設を継続的に維持していくためには応分の費用が必要ですが、経年劣化による補修費用だけでなく、特に建替えには多額な費用が必要になります。

また、新学習指導要領等に基づく多様な学習内容や形態に対応した高機能かつ多機能な施設環境の整備に加え、防災対策、バリアフリー化、普通教室やトイレなどの子どもたちの学習・生活空間の快適化、環境負荷の低減等の様々な配慮が学校施設には求められています。

これからは、現有施設をできるだけ長期間使用する工夫に努め、施設整備にかかるコストを総合的に抑制していくといった考え方に転換していく必要があります。

### ② 目的

「榛東村学校施設の個別施設計画（以下「本計画」という。）」は、上記の背景を踏まえて学校施設を総合的観点で捉え、長寿命化できるものは長寿命化し、適正に改修・建替えるとともに、教育環境の質的改善も考慮しながら改修・建替え等を検討するための詳細診断の優先順位を設定しつつ、これに要するコストの縮減と平準化を図ることを目的として策定します。

建物の長寿命化に伴い、これまでの対症療法的な維持管理から予防保全的な維持管理へ転換し、建物の機能や設備を常に良好な状態に保ちます。

なお、本計画は榛東村公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）に基づく学校施設の個別施設計画として位置づけるとともに、施設整備計画は本計画に基づき策定していくこととします。

## ③ 計画期間

本計画は、平成 30 年度（2018 年度）から平成 70 年度（2058 年度）までの 40 年間を計画期間として設定し、本村を取り巻く社会情勢や国の施策等の進捗状況等を踏まえ、適宜見直しを図ります。

## ④ 対象施設

本計画における対象施設を以下に示します。

## ア) 学校教育系施設

分類	施設名称	施設数
学校	小学校	2 校
	中学校	1 校
その他教育施設	学校給食センター	1 施設

## 小学校

北小学校 校舎①	南小学校 校舎①
北小学校 校舎②	南小学校 校舎②
北小学校 体育館	南小学校 特別教室棟
北小学校 プール専用付属室	南小学校 体育館
	南小学校 プール専用付属室

## 中学校

榛東中学校 校舎①
榛東中学校 校舎②
榛東中学校 体育館
榛東中学校 特別教室棟
榛東中学校 プール専用付属室

## 学校給食センター

榛東村学校給食センター
-------------

## イ) 子育て支援施設

分類	施設名称	施設数
幼保・こども園	幼稚園	2 園

## 幼稚園

北幼稚園 園舎	南幼稚園 園舎①
北幼稚園 預かり保育室	南幼稚園 園舎②
	南幼稚園 園舎③

## (2) 学校施設の目指すべき姿

### ① 安全性

#### ○災害対策

- ・地震に強い学校施設
- ・津波、洪水に強い学校施設
- ・防災機能を備えた学校施設

#### ○防犯・事故対策

- ・安全で安心な学校施設

### ② 快適性

#### ○快適な学習環境

- ・学習能力の向上に資する快適な学習環境
- ・児童生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校
- ・バリアフリーに配慮した環境
- ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間

#### ○教職員に配慮した環境

- ・教職員に配慮した空間
- ・教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要な I C T 環境

### ③ 学習活動への適応性

#### ○主体性を養う空間の充実

- ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境
- ・子どもたちの教科等に対する興味関心を引き、自ら学ぶ主体的な行動を促すための空間
- ・子どもたちや保護者等が教員を訪れやすい空間
- ・社会性を身に付けるための空間

#### ○効果的・効率的な施設整備

- ・習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間
- ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間
- ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための I C T 環境
- ・各教科等の授業を充実させるための環境

#### ○言語活動の充実

- ・各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間
- ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境
- ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるための I C T 環境

### ③ 学習活動への適応性

#### ○理数教育への充実

- ・充実した観察・実験を行うための環境

#### ○運動環境の充実

- ・充実した運動ができる環境

#### ○伝統や文化に関する教育の充実

- ・伝統や文化に関する教育を行うための環境

#### ○外国語教育の充実

- ・外国語活動等におけるジェスチャーゲームなどの体を動かす活動やペアやグループでの活動など児童生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間

#### ○学校図書館の活用

- ・子どもたちの自発的な学習や読書活動を促すための環境
- ・調べ学習や習熟度別学習、ティームティーチングなどの多様な学習集団・学習形態を展開するための空間
- ・各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや児童生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのICT環境
- ・地域に開かれた学校とするための環境
- ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設

#### ○キャリア教育・進路指導の充実

- ・充実したキャリア教育・進路指導を行うための環境

#### ○食育の充実

- ・食育のための空間

#### ○特別支援教育の推進

- ・バリアフリーに配慮した環境
- ・自閉症、情緒障害又はADHD等のある児童生徒に配慮した学校施設

#### ○環境教育の充実

- ・地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール

### ④ 環境への適応性

- ・環境を考慮した学校施設（エコスクール）

### ⑤ 地域の拠点化

- ・安全で安心な学校施設
- ・バリアフリーに配慮した環境
- ・地域に開かれた学校とするための環境
- ・地域の生涯学習の拠点となる学校施設

（上記の学校施設の目指すべき姿については、「学校施設整備基本構想の在り方について」（学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議（平成25年3月））より抜粋）

### (3) 学校施設の実態

#### ① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態

##### 1) 対象施設一覧

本村には、学校教育系施設として小学校2校、中学校1校、学校給食センター1施設の合計4施設があります。小学校全体の延床面積は12,387㎡、中学校は8,710㎡、学校給食センターは726㎡となり、合わせた延床面積は21,823㎡になります。

また、子育て支援施設としては幼稚園が2園あり、合わせた延床面積は1,392㎡になります。

施設一覧		※本資料の施設一覧は、文部科学省の公立学校施設台帳による				(平成30年5月1日時点)			
名称(施設名)	建物名	所在地	建築年度	延床面積(㎡)	児童生徒数(人)		学級数(学級)		
					通常学級 在籍者数	特別 支援	通常 学級	特別 支援	
小 学 校	1 北小学校	校舎①	山子田1261	1980	1,681.00	397	10	15	3
	2 北小学校	校舎②	山子田1261	1981	3,085.00				
	3 北小学校	体育館	山子田1261	1981	1,315.08				
	4 北小学校	プール専用付属室	山子田1261	1997	83.00				
	5 北小学校	ポンプ室	山子田1261	1981	9.00				
	6 北小学校	物置	山子田1261	1981	27.00				
	7 北小学校	運動場倉庫	山子田1261	1986	38.00				
	1 南小学校	校舎①	広馬場1142	1977	3,606.00	365	11	13	2
	2 南小学校	校舎②	広馬場1142	1998	437.00				
	3 南小学校	特別教室棟	広馬場1142	2003	820.00				
	4 南小学校	体育館	広馬場1142	2014	1,121.10				
	5 南小学校	プール専用付属室	広馬場1142	2013	95.40				
	6 南小学校	体育舎	広馬場1142	1977	32.00				
	7 南小学校	外トイレ	広馬場1142	1997	7.00				
	8 南小学校	器具庫	広馬場1142	2014	30.80				
小学校 計					12,387.38	762	21	28	5
中 学 校	1 榛東中学校	校舎①	新井598-1	2011	3,042.00	412	7	12	2
	2 榛東中学校	校舎②	新井598-1	2011	1,992.00				
	3 榛東中学校	校舎(特別教室棟)	新井598-1	1983	1,639.00				
	4 榛東中学校	体育館	新井598-1	1999	1,840.00				
	5 榛東中学校	プール専用付属室	新井598-1	1992	116.00				
	6 榛東中学校	物置	新井598-1	1993	32.00				
	7 榛東中学校	運動場倉庫	新井598-1	1983	20.00				
	8 榛東中学校	運動場物置	新井598-1	1993	23.00				
	9 榛東中学校	運動場トイレ	新井598-1	1983	6.00				
中学校 計					8,710.00	412	7	12	2
その他	1 学校給食センター		新井685	1986	726.00				
その他 計					726.00				
学校教育系施設 計					21,823.38				
幼 稚 園	1 北幼稚園	園舎	山子田1261	1979	559.48	57	-	3	-
	2 北幼稚園	預かり保育室	山子田1261	2013	82.21				
	3 北幼稚園	倉庫①	山子田1261	2011	6.60				
	4 北幼稚園	倉庫②	山子田1261	2013	20.63				
	1 南幼稚園	園舎①	広馬場1143-1	1984	465.95	60	-	3	-
	2 南幼稚園	園舎②	広馬場1143-1	2001	161.00				
	3 南幼稚園	園舎③	広馬場1143-1	1992	81.00				
	4 南幼稚園	倉庫	広馬場1143-1	2013	15.40				
子育て支援施設 計					1,392.27	117	-	6	-

2) 児童生徒数及び学級数の変化

<児童生徒数>

(人)

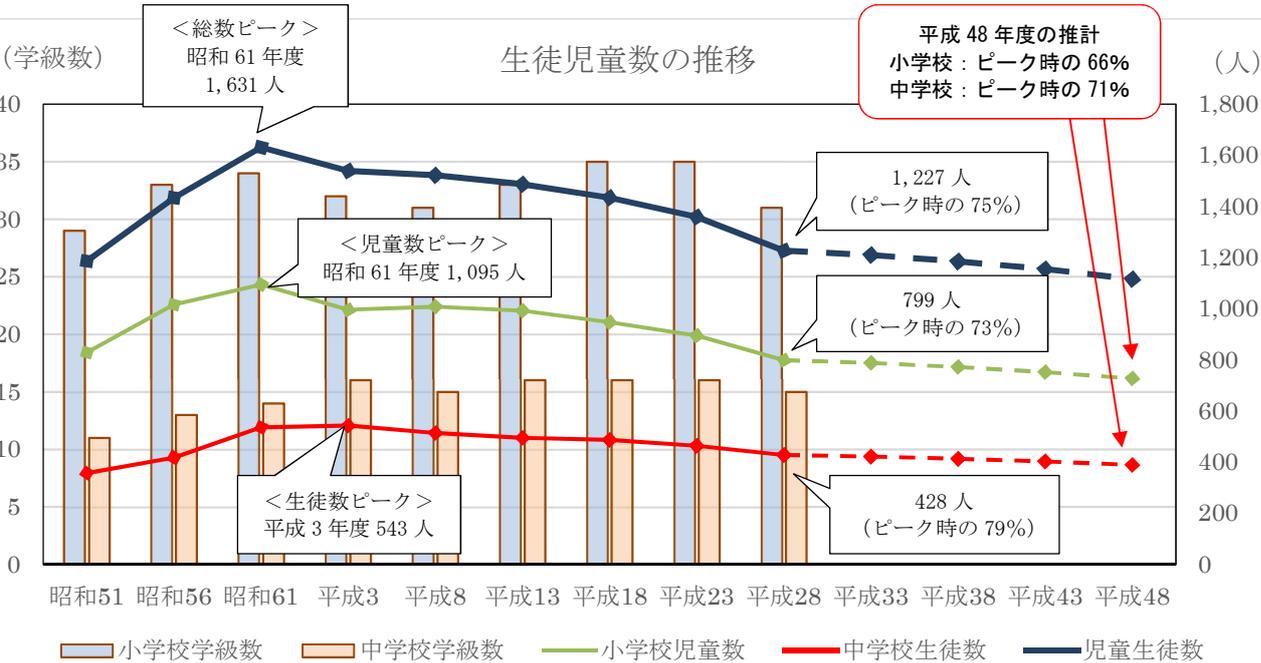
	これまでの推移									将来推計			
	1976	1981	1986	1991	1996	2001	2006	2011	2016	2021	2026	2031	2036
	昭 51	昭 56	昭 61	平 3	平 8	平 13	平 18	平 23	平 28	平 33	平 38	平 43	平 48
小学校 児童数	829	1,016	1,095	996	1,008	992	947	895	799	788	772	752	727
中学校 生徒数	357	418	536	543	514	495	487	464	428	422	413	403	389
合計	1,186	1,434	1,631	1,539	1,522	1,487	1,434	1,359	1,227	1,210	1,185	1,155	1,116

<学級数>

(学級)

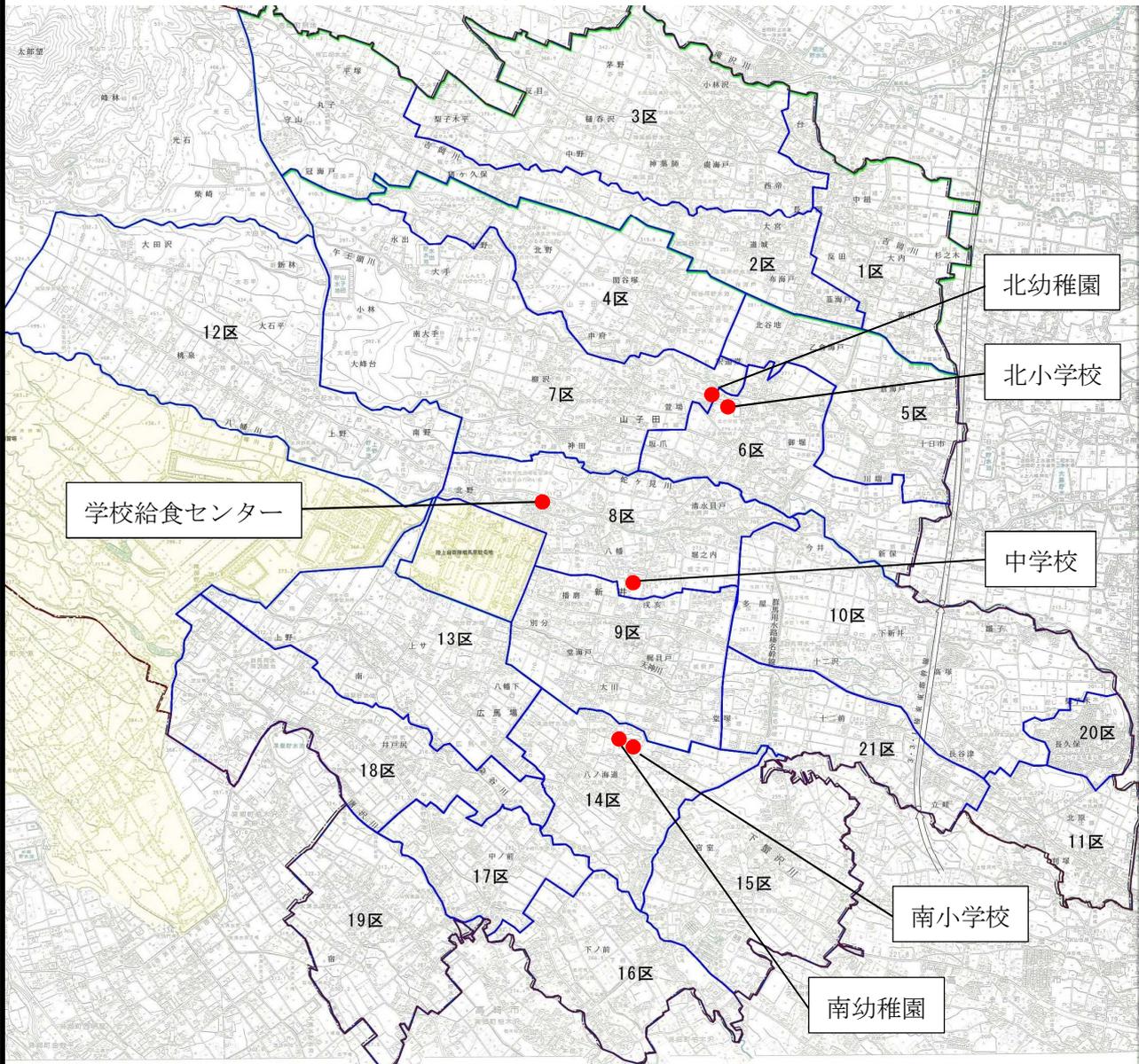
	これまでの推移									将来推計			
	1976	1981	1986	1991	1996	2001	2006	2011	2016	2021	2026	2031	2036
	昭 51	昭 56	昭 61	平 3	平 8	平 13	平 18	平 23	平 28	平 33	平 38	平 43	平 48
小学校	29	33	34	30 (2)	29 (2)	30 (3)	32 (3)	31 (4)	27 (4)	-	-	-	-
中学校	11	13	14	15 (1)	14 (1)	15 (1)	14 (2)	14 (2)	13 (2)	-	-	-	-
合計	40	46	48	45 (3)	43 (3)	45 (4)	46 (5)	45 (6)	40 (6)	-	-	-	-

( ) 内は特別支援学級数



### 3) 学校施設の配置状況

#### 榛東村における学校教育系施設・子育て支援施設の配置状況



人口と世帯（平成 30 年 9 月 30 日現在）

小学校区	行政区	人口 (人)	世帯数
北小学校	1	493	184
	2	458	170
	3	672	239
	4	578	214
	5	678	224
	6	652	240
	7	1,011	395
	8	611	219
	10	978	366
	11	564	250
	12	406	152
	20	640	301
小計		7,741	2,954

小学校区	行政区	人口 (人)	世帯数
南小学校	9	1,474	579
	13	600	198
	14	849	286
	15	785	281
	16	640	239
	17	514	200
	18	595	248
	19	422	163
	21	720	255
	小計		6,599
合計		14,340人	

榛東村における行政区ごとの年代別人口割合

		(人口と世帯は平成29年1月31日現在)												
大字	行政区	人 口 (人)												
		20歳未満		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳以上		計
長岡	1	77	15%	64	12%	50	10%	67	13%	85	16%	173	34%	516
	2	90	19%	52	11%	60	13%	72	15%	56	12%	150	31%	480
	3	102	15%	53	8%	85	13%	78	12%	78	12%	263	40%	659
山子田	4	107	19%	54	9%	55	10%	98	17%	76	13%	183	32%	573
	5	150	23%	49	8%	80	12%	119	18%	73	11%	173	27%	644
	6	139	21%	71	11%	87	13%	95	14%	85	13%	192	29%	669
	7	185	18%	100	10%	131	13%	146	15%	110	11%	333	33%	1,005
新井	8	122	20%	51	8%	64	11%	89	15%	79	13%	200	33%	605
	9	315	21%	178	12%	213	14%	238	16%	164	11%	364	25%	1,472
	10	192	20%	81	9%	117	12%	147	16%	92	10%	310	33%	939
	11	70	12%	85	15%	55	10%	85	15%	56	10%	219	38%	570
	12	51	12%	39	9%	55	13%	46	11%	50	12%	174	42%	415
広馬場	13	146	25%	45	8%	89	15%	96	16%	65	11%	152	26%	593
	14	204	25%	81	10%	109	13%	149	18%	104	13%	180	22%	827
	15	155	19%	84	10%	88	11%	131	16%	124	15%	227	28%	809
	16	109	16%	79	12%	60	9%	105	16%	106	16%	202	31%	661
	17	86	17%	59	12%	44	9%	79	16%	66	13%	174	34%	508
	18	111	18%	53	9%	86	14%	105	17%	60	10%	199	32%	614
	19	60	14%	34	8%	43	10%	78	18%	60	14%	158	36%	433
新井	20	46	7%	37	6%	73	11%	67	10%	63	9%	378	57%	664
	21	162	26%	68	11%	102	16%	111	18%	62	10%	128	20%	633
全 体		2,679	19%	1,417	10%	1,746	12%	2,201	15%	1,714	12%	4,532	32%	14,289

本村の小学校児童数は昭和 61 年度をピークに、中学校生徒数は平成 3 年度をピークとして毎年減少傾向にあります。平成 48 年度の将来推計をみると、小学校児童数はピーク時の 66%、中学校生徒数は 71%になると見込まれています。

また、榛東村公共施設等総合管理計画（平成 29 年 3 月）による本村の年齢 3 区分別人口※の推移では、平成 22（2010）年以降、生産年齢人口が減少に転じたため、これと呼応し総人口も減少に転じる結果となっています。推計では、老年人口比率が増え続け、年少人口及び生産年齢人口比率が減り続けると予想されており、これからも人口減少と少子高齢化が進行していくものと考えられます。

行政区ごとの年代別人口割合をみると、北小学校区にあたる長岡地区及び新井地区の一部において、60 歳以上の年齢が占める割合が、20 歳未満の割合より高くなっています。南小学校区にあたる新井地区の一部及び広馬場地区の一部では、20 歳未満の年齢が占める割合が 25%以上を占めていますが、村全体では 20 歳未満の年齢が占める割合は 20%を下回っている状況にあります。

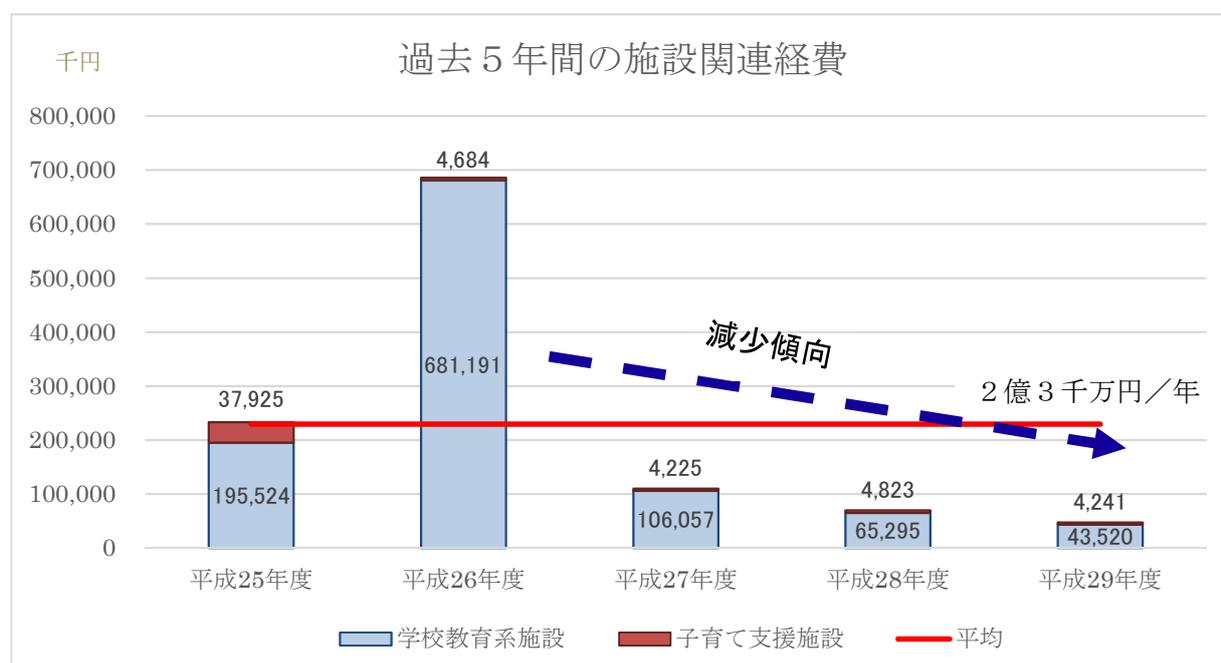
今後も将来推計の人口減少に比例して、小学校児童数及び中学校生徒数の減少が見込まれています。

※年齢 3 区分別人口：榛東村公共施設等総合管理計画 P 5 図 2-5 参照

## 4) 施設関連経費の推移

(単位：千円)

		平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	5年平均
学 校 教 育 系 施 設	施設整備費	0	603,293	0	0	0	120,659
	その他施設整備費	146,389	22,583	73,684	31,229	8,338	56,444
	維持修繕費	4,628	4,557	4,908	8,143	8,220	6,091
	光熱水費・委託費等	44,507	50,758	27,465	25,923	26,962	35,123
	小 計	195,524	681,191	106,057	65,295	43,520	218,317
子 育 て 支 援 施 設	施設整備費	30,818	0	0	0	0	6,164
	その他施設整備費	0	0	0	0	0	0
	維持修繕費	839	1,562	1,378	1,997	1,279	1,411
	光熱水費・委託費等	6,268	3,122	2,847	2,826	2,962	3,605
	小 計	37,925	4,684	4,225	4,823	4,241	11,180
合 計		233,449	685,875	110,282	70,118	47,761	229,497



平成25～29年度の5年間の学校教育系施設の施設関連経費は、約4千3百万～6億8千万円で、5年間の平均は約2億1千8百万円/年となります。また、子育て支援施設の施設関連経費は、4百万～3千7百万円で5年間の平均は約1千1百万円/年となります。

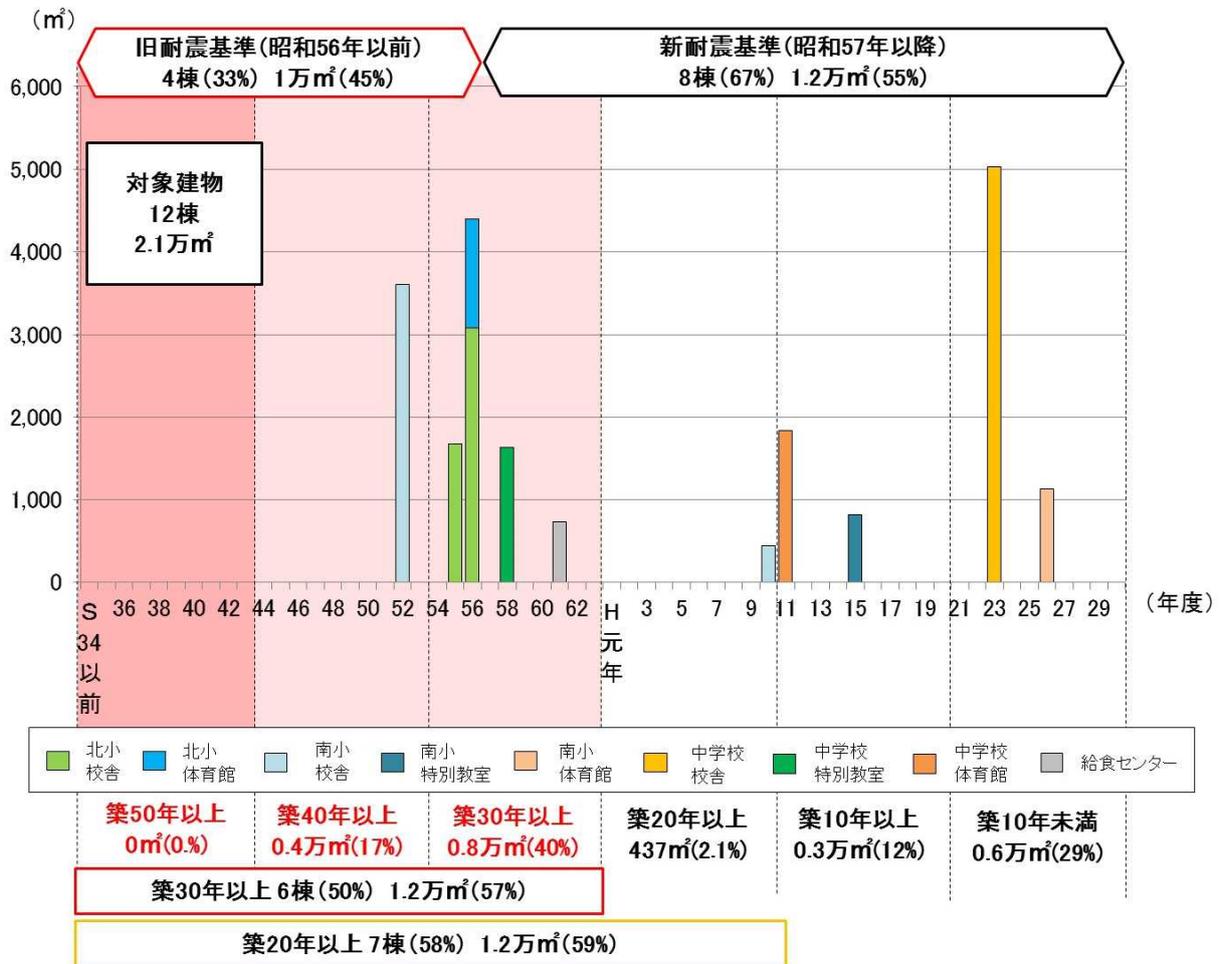
学校教育系施設における平成25年度のその他施設整備費は南小学校のプール建設、平成26年度の施設整備費は南小学校の体育館の建設、平成27年度のその他施設整備費は、南小学校の外構工事及び北小学校の体育館の床工事に要した費用となっています。

子育て支援施設における平成25年度の施設整備費は北幼稚園の預かり保育室の建設に要した費用となっています。

5) 学校施設の保有量

ア) 学校教育系施設

築年別整備状況

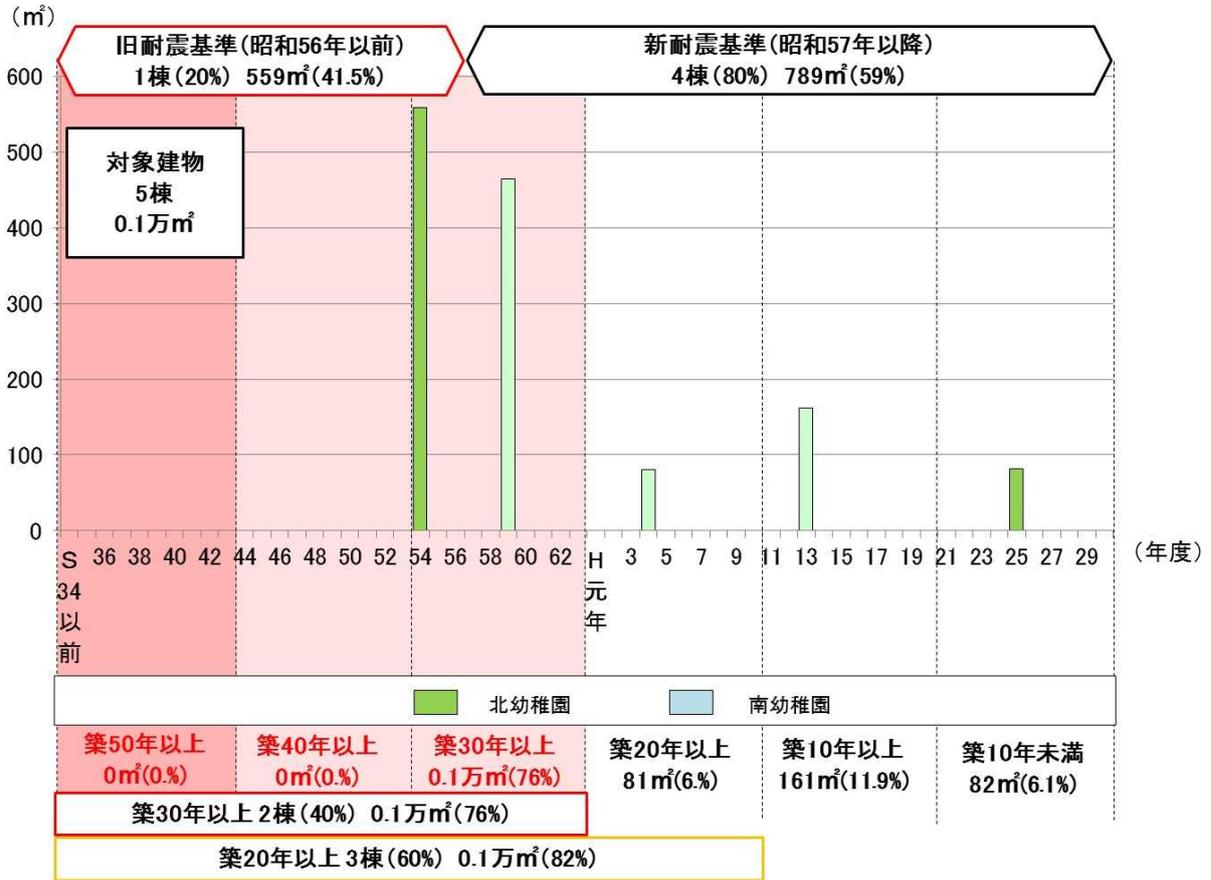


計画対象の小学校、中学校及び学校給食センターは、築30年以上の建物が6棟で1.2万㎡(57%)と、村の施設全体(35.1%)の割合と比較して、学校教育系施設の老朽化は特に進んでいます。また、10年後には59%が老朽化します。

ただし、現在、築50年以上の建物はないことから、長寿命化による対応の可能性を検討する必要があります。

イ) 子育て支援施設

築年別整備状況



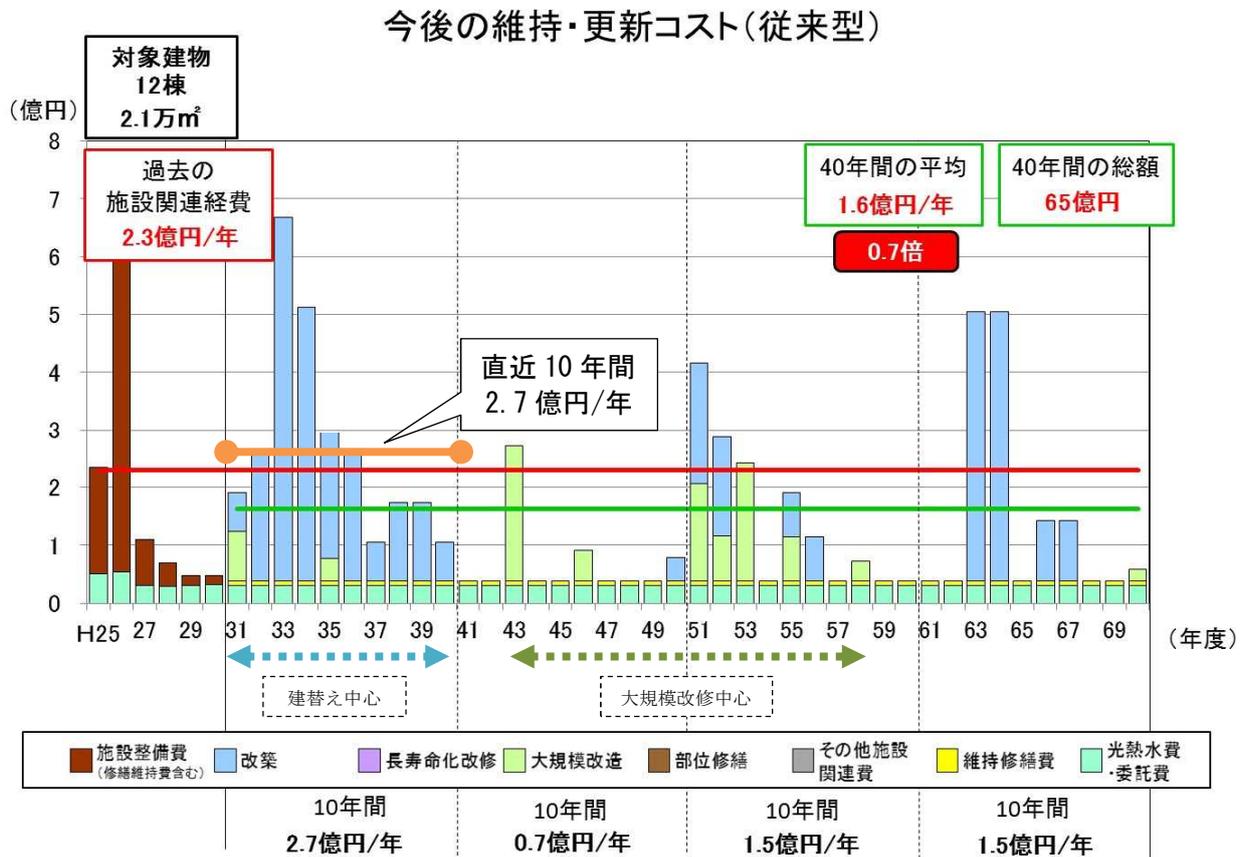
計画対象の幼稚園は、築30年以上の北幼稚園と南幼稚園の園舎の建物が2棟で1,024 m<sup>2</sup>(76%)と、村の施設全体(35.1%)の割合と比較して、子育て支援施設の老朽化は特に進んでいます。

また、10年後には82%が老朽化します。

ただし、現在、築50年以上の建物はないことから、長寿命化による対応の可能性を検討する必要がありますと考えられます。

## 6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

### ア) 学校教育系施設



40年で建替える従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後40年間のコストは65億円（年平均更新費用1.6億円）かかります。

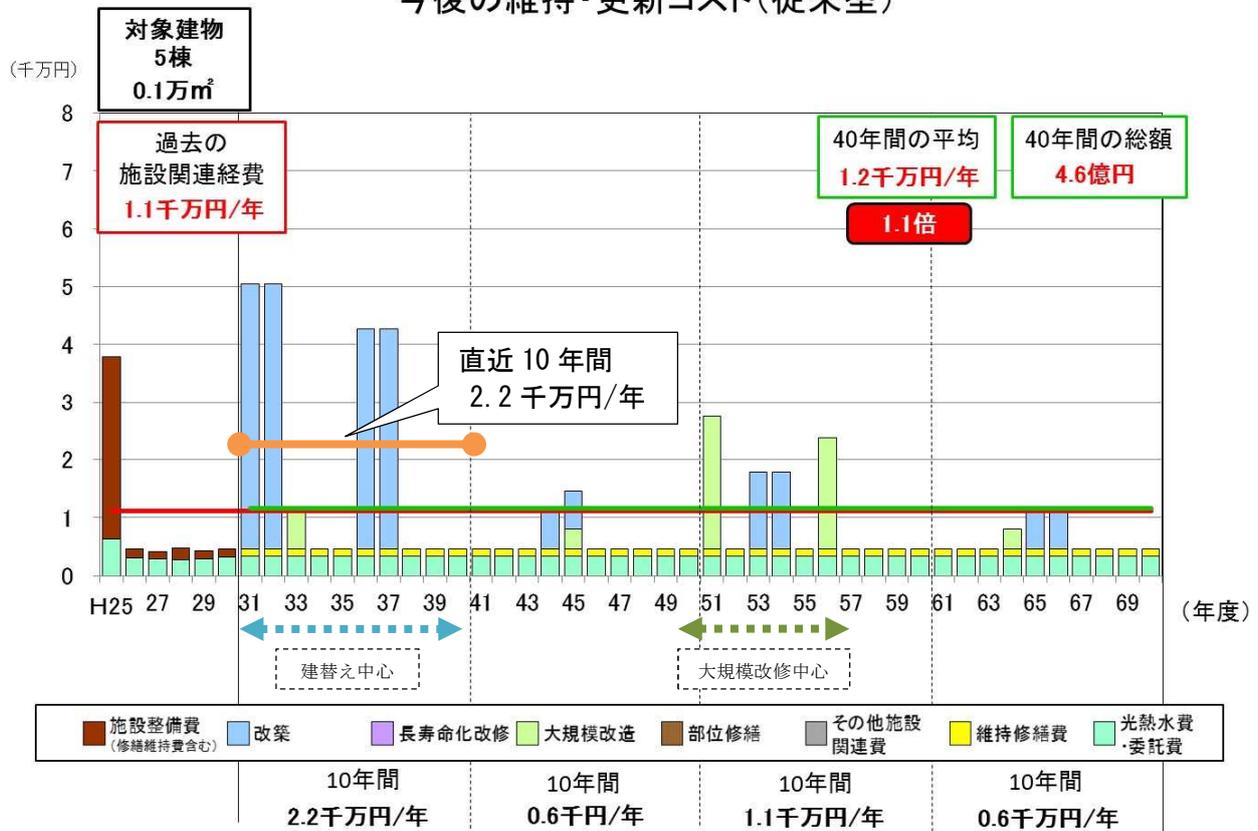
これは、直近5年間の投資的経費2.3億円/年の0.7倍に相当します。

また、平成31～40年度までの10年間では、建替えが集中するため投資的経費の1.2倍以上のコストがかかることが見込まれます。

従来の建替え中心の整備を継続していくことは、人口減少及び少子高齢化をはじめとした社会状況の変化に伴う生産年齢人口の減少による村税収入の減少、高齢者の増加に伴う扶助費等の増加及び公共施設等の更新時期の集中による年度別充当額財源の不足が想定され、対応策を検討する必要があります。

イ) 子育て支援施設

今後の維持・更新コスト(従来型)



40年で建替える従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後40年間のコストは4.6億円(年平均更新費用1.2千万円)かかります。

これは、直近5年間の投資的経費1.1千万円/年の1.1倍に相当します。

また、平成31~40年度までの10年間では、建替えが集中するため投資的経費の2倍以上のコストがかかることが見込まれます。

学校教育系施設と同様に従来の建替え中心の整備を継続していくことは、人口減少及び少子高齢化をはじめとした社会状況の変化に伴う生産年齢人口の減少による村税収入の減少、高齢者の増加に伴う扶助費等の増加及び公共施設等の更新時期の集中による年度別充当額財源の不足が想定され、対応策を検討する必要があります。

②学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

ア) 学校教育系施設

■ : 築50年以上 □ : 築30年以上 基準 2018

建物情報一覧表

A : 概ね良好 C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化 D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報												構造躯体の健全性				劣化状況評価									
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分	学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性	耐震診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	長寿命化判定	試算上の区分	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
												西暦	和暦												
1	1331	北小学校	校舎①	001-1		小学校	小学校	校舎	RC	3	1,681	1980	S55	38	旧	済		平21	25.7	長寿命	長寿命	B	B	B	65
2	1331	北小学校	校舎②	001-2		小学校	小学校	校舎	RC	3	3,085	1981	S56	37	旧	済		平21	25.7	長寿命	長寿命	B	B	B	65
3	1331	北小学校	体育館	003		小学校	小学校	体育館	S	2	1,315	1981	S56	37	旧	済	済	平21	17.7	長寿命	長寿命	B	A	C	80
4	1332	南小学校	校舎①	001-1		小学校	小学校	校舎	RC	3	3,606	1977	S52	41	旧	済	済	平21	25.7	長寿命	長寿命	B	C	B	52
5	1332	南小学校	校舎②	001-2		小学校	小学校	校舎	RC	3	437	1998	H10	20	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	B	B	B	75
6	1332	南小学校	特別教室棟	011		小学校	小学校	校舎	RC	3	820	2003	H15	15	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	A	A	A	100
7	1332	南小学校	体育館	014		小学校	小学校	体育館	RC	1	1,121	2014	H26	4	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	A	A	A	100
8	4331	棟東中学校	校舎①	018-1		中学校	中学校	校舎	RC	3	3,042	2011	H23	7	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	A	B	B	84
9	4331	棟東中学校	校舎②	018-2		中学校	中学校	校舎	RC	3	1,992	2011	H23	7	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	A	A	A	100
10	4331	棟東中学校	特別教室棟	006		中学校	中学校	校舎	RC	3	1,639	1983	S58	35	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	A	B	C	64
11	4331	棟東中学校	体育館	015		中学校	中学校	体育館	RC	2	1,840	1999	H11	19	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	A	B	B	77
12	K281	給食センター	-	001		給食センター	給食センター		S	2	726	1986	S61	32	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	C	B	B	59

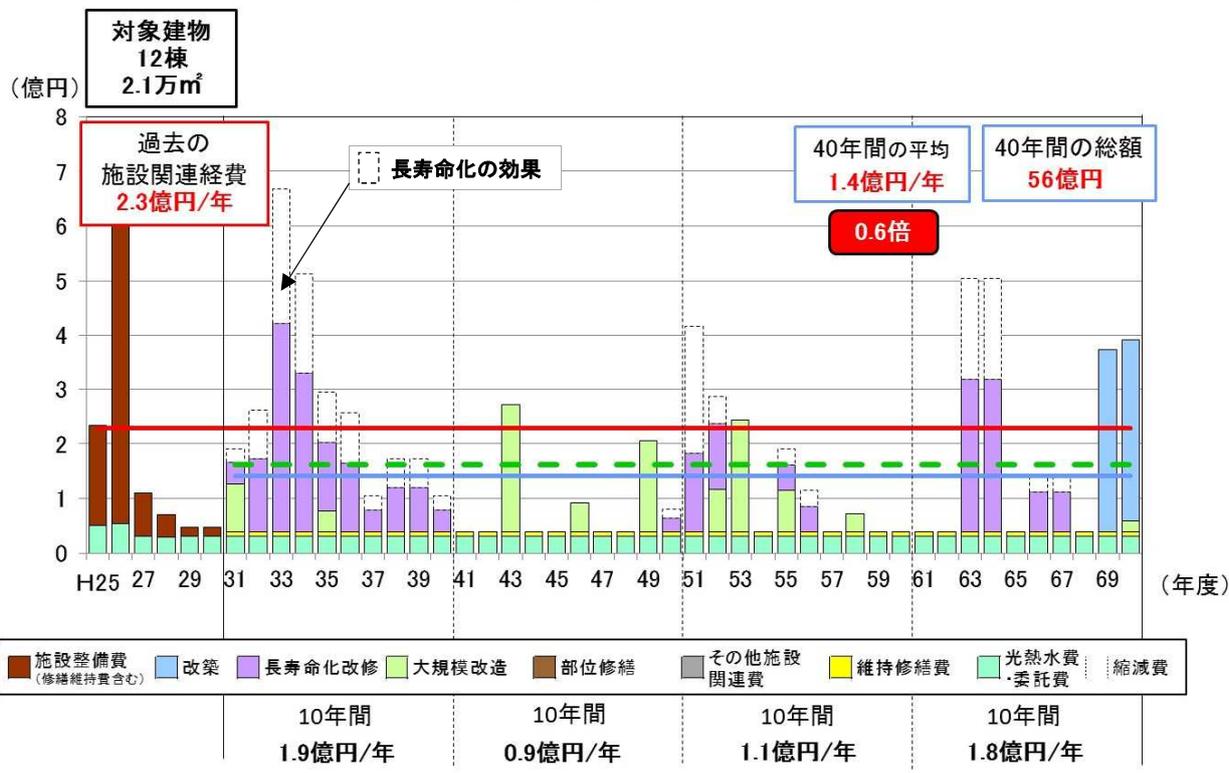
イ) 子育て支援施設

建物基本情報												構造躯体の健全性				劣化状況評価									
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分	学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	耐震安全性	耐震診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	長寿命化判定	試算上の区分	内部仕上	電気設備	機械設備	健全度(100点満点)
												西暦	和暦												
1	7331	北幼稚園	園舎	001		幼稚園	幼稚園	園舎	RC	1	559	1979	S54	39	旧	済	-	平21	25.7	長寿命	長寿命	B	B	B	65
2	7331	北幼稚園	預かり保育室	004		幼稚園	幼稚園	園舎	S	1	82	2013	H25	5	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	A	A	A	100
3	7332	南幼稚園	園舎①	001		幼稚園	幼稚園	園舎	RC	1	465	1984	S59	34	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	A	B	A	84
4	7332	南幼稚園	園舎②	003		幼稚園	幼稚園	園舎	S	1	161	2001	H13	17	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	B	B	A	81
5	7332	南幼稚園	預かり保育室	002		幼稚園	幼稚園	園舎	S	1	81	1992	H4	26	新	-	-	-	-	長寿命	長寿命	B	B	A	81

2) 今後の維持・更新コストの把握 (長寿命化型)

ア) 学校教育系施設

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



建替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

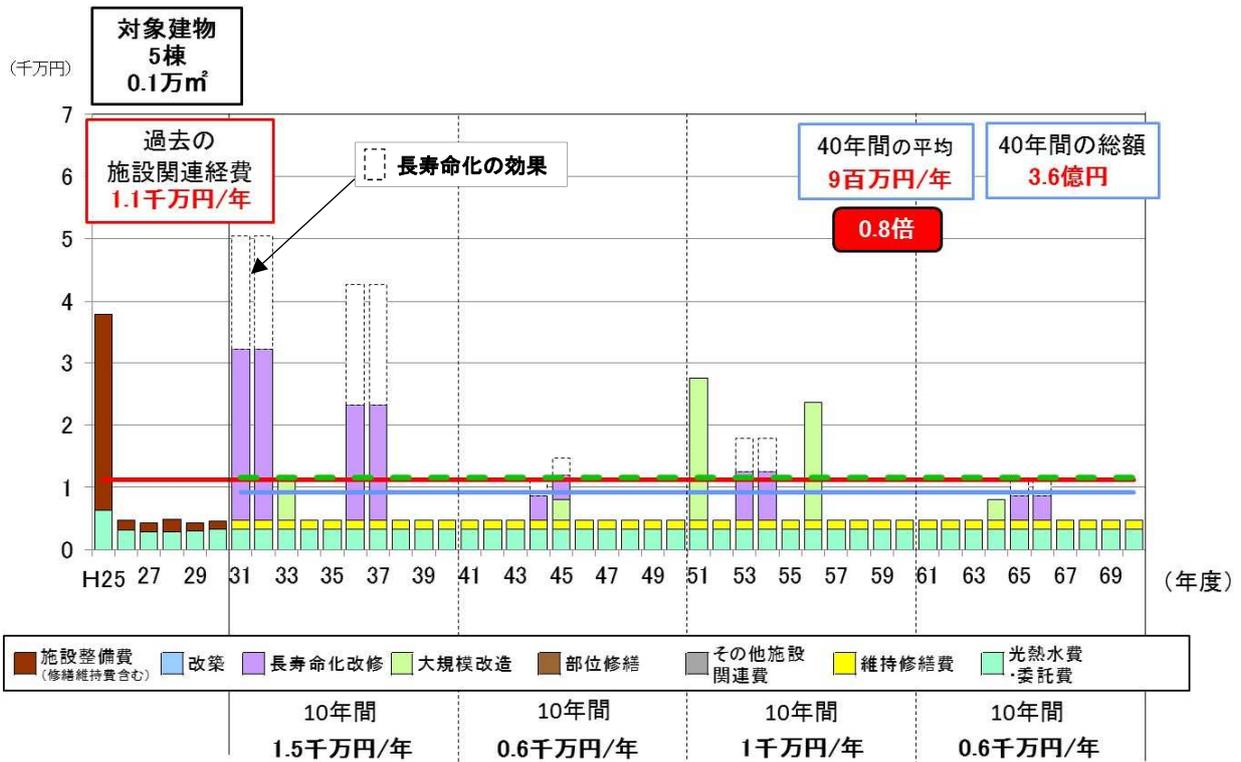
長寿命化により 80 年に建物を長寿命化した場合、今後 40 年間の維持・更新コストは総額約 56 億円 (年平均更新費用 1.4 億円) となり、従来の建替え中心の場合の 65 億円 (年平均更新費用 1.6 億円) より総額 9 億円、約 13%の縮減となります。

直近 5 年間の投資的経費 2.3 億円/年に対しても 0.9 億円/年、約 40%の縮減が見込めます。

また、平成 31~40 年度までの 10 年間では、従来の建替え中心の場合の 2.7 億円/年より 0.8 億円/年、総額 9 億円の縮減が見込めます。

イ) 子育て支援施設

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



建替え中心から改修による長寿命化に切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を建物全体でまとめて実施する必要があります。

長寿命化により 80 年に建物を長寿命化した場合、今後 40 年間の維持・更新コストは総額約 3.6 億円 (年平均更新費用 0.9 千万円) となり、従来の建替え中心の場合の 4.6 億円 (年平均更新費用 1.2 千万円) より総額 1 億円、約 20%の縮減となります。

直近 5 年間の投資的経費 1.1 千万円/年に対しても 0.2 千万円/年、約 18%の縮減が見込めます。

また、平成 31~40 年度までの 10 年間では、従来の建替え中心の場合の 2.2 千万円/年より 0.7 千万円/年、総額 8 千万円の縮減が見込めます。

## (4) 学校施設整備の基本的な方針等

### ① 学校施設の規模・配置計画等の方針

#### 1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

<p>公共施設等総合管理計画の基本方針</p>	<p>1. 公共建築物の質・量等の最適化 人口動態や社会情勢の変化による個々の施設の需要予測をもとに、必要性が低くなった施設の規模縮小や統合・廃止等を検討します。必要性の高い施設は、新設・更新を行うなど、適切な規模・サービス水準等の検討を行います。</p> <p>2. 公共建築物の長寿命化 点検・診断に基づき安全性を確保した予防保全型の維持管理を実施し、公共施設の長寿命化を推進することで、財政負担の軽減や平準化に取り組みます。</p> <p>3. 総合的な管理運営の推進 行政の取組体制の構築、民間活力の活用、省エネルギー等の多様な取組の実施による総合的な管理運営を図ります。</p>
<p>公共施設等総合管理計画の施設類型別方針 【学校】</p>	<p>児童・生徒の充実した教育環境を確保するため、施設の計画的な改修・整備を進め、長寿命化を図るとともに、学力向上を目的とした少人数学級の導入、空き教室の活用等を検討することにより、施設の有効活用を図ります。また、学校給食センターは老朽化が進んでいるため、建替えを検討します。</p>



<p>学校施設の長寿命化計画の基本方針</p>		<p>継続して使用する施設については、これまでの「事後保全」の維持管理だけでなく、長期的な視点で計画的な修繕を行う「予防保全」の考えを取り入れ、定期的な点検や診断結果に基づく計画的な保全を実施し、公共施設等の長寿命化を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 躯体の健全性の詳細調査を随時実施し、可能な建物は 80 年に長寿命化</li> <li>● 適切な維持管理、長寿命化による財政負担の平準化及びライフサイクルコストの削減</li> </ul>
<p>分野別方針</p>	<p>小中学校</p>	<p>小学校・中学校の規模の適正化と適正配置を推進します。大規模改修、建替え時等において、将来児童生徒数が減少する場合は地域の施設の機能を集約・複合化し、地域のコミュニティと防災の拠点化を図ります。</p>
	<p>幼稚園（子育て支援施設）</p>	<p>子育て支援新制度のもと適正配置などを総合的に検討します。</p>

## 2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

### ア) 学校教育系施設

榛東村の小学校 2 校はそれぞれの学区の中央部に、中学校 1 校も同じく村内の中央部にバランス良く配置されており、原則として現在の配置を維持していきます。

今後の学校施設の活用方針としては、「現状の規模や機能を維持する学校」、「現状の規模や機能を維持しつつ、他の公共施設との複合化・共用化を検討する学校」、「統合等を検討する学校」の 3 つが考えられます。本村においては、近い将来に標準的な規模に満たない学校はないため、以下の 2 つを基本として検討していきます。

#### 1. 現状の規模や機能を維持する学校

教育方法・内容等の変化に適応させることに留意しつつ、余裕教室などの空きスペースの有効活用をより一層進めることとします。

施設の転用が見込めない場合には、施設を保有しているだけでも日常的な維持管理のための費用がかかることから、保有施設のうち不要となった部分を取り壊す「減築」を行うことも考えていきます。

#### 2. 現状の規模や機能を維持しつつ、他の公共施設との複合化・共用化を検討する学校

学校施設が地域の核となることも視野に入れながら、地域の実情に応じ、他の文化施設や高齢者福祉施設等の公共施設との複合化・共用化を図るなど地域のコミュニティと防災の拠点化を検討していきます。

その場合、児童生徒等の安全や教育環境への十分な配慮が必要となることを視野に入れ検討していきます。

### イ) 子育て支援施設

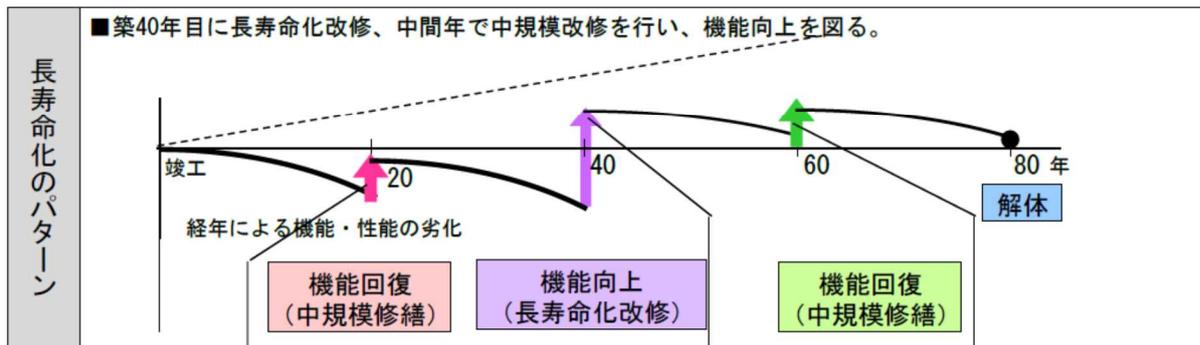
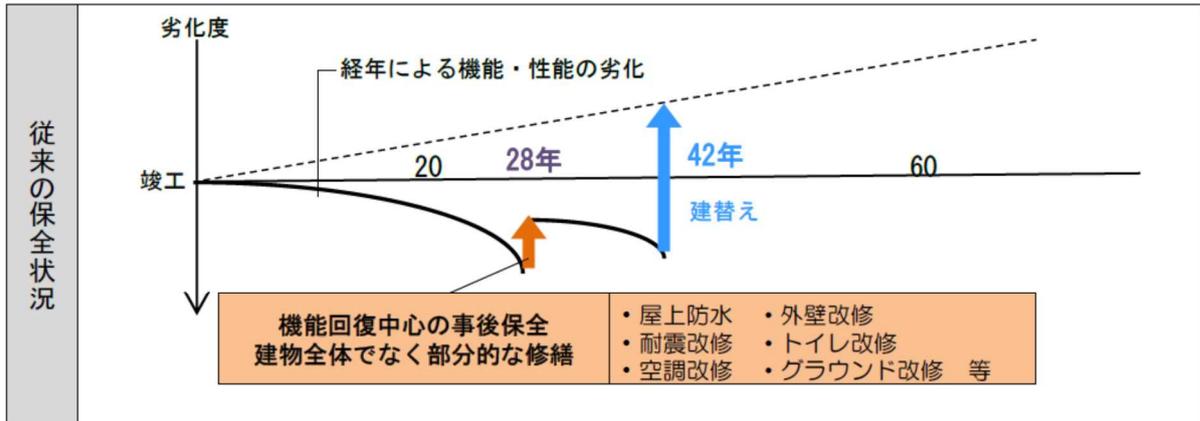
榛東村の幼稚園 2 園はそれぞれの小学校に隣接した位置に配置されており、通園区域は村内の小学校区と同様となっています。

今年度から社会情勢の変化に伴う子育て支援新制度のもと村立幼稚園のあり方についての検討をはじめたところであり、今後の子育て支援施設の活用方針としては、その検討状況に留意しながら、改修等の優先順位付けと実施計画を策定する必要があります。施設の改修や日常的な維持管理等を効果的に進めていくためには、将来的な幼稚園のあり方について十分に考慮し、それらに応じて無駄のない適切な範囲・方法等を選定することが重要であります。

② 改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

今後は、建替えから長寿命化改修による建物の長寿命化に切り替え、部位改修を併用した整備を行います。長寿命化改修を実施した場合の修繕・改修周期は以下のとおりとします。



参考：工事内容

築 20 年目 中規模修繕	築 40 年目 長寿命化改修	築 60 年目 中規模修繕
経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事	経年劣化による機能回復工事と、社会的要求に対応するための機能向上工事	経年劣化による損耗、機能低下に対する機能回復工事
<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・設備機器更新</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障・不具合修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防水改修（断熱化）</li> <li>・外壁改修</li> <li>・開口部改修</li> <li>・内部改修（床・壁・天井）</li> <li>・設備改修</li> <li>・プール改修</li> <li>・グラウンド改修 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・屋上防水改修</li> <li>・外壁改修</li> <li>・設備機器更新</li> <li>・劣化の著しい部位の修繕</li> <li>・故障・不具合修繕</li> </ul>

### (5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

#### ① 改修等の整備水準

長寿命化において配慮すべき性能に対して、各部の整備レベルを設定し、対費用効果を考慮して、最適な仕様を設定します。また、将来の社会的要求水準の高まりへの対応、建物の整備レベルの統一を図ります。

		校 舎		
		省エネ型 長寿命化改修	長寿命化改修	現状の整備レベル
部 位		改修メニュー（整備レベル）		
		高		低
外部仕上げ	屋根・屋上	外断熱保護防水 (断熱材 50mm) (既存撤去)	改質アスファルト防水 (断熱材 25mm) (既存の上)	シート防水 塗膜防水 (断熱なし)
	外 壁	外 壁 塗 装 (防水型複層塗材)		外壁塗装 (複層薄塗材)
		外断熱	内断熱	断熱なし
	外部開口部	サッシ交換 (カバー工法) (複層ガラス等)	既存サッシの ガラス交換 (複層ガラス等)	
その他外部	日射抑制装置 (ライトシェードまたは庇)	庇等を設置しない		
	手すり等の鉄部塗装			
内部仕上げ	内部仕上げ (教室等)	内装の 全面撤去・更新 (木質化)		床補修 壁・天井塗替え (部分改修)
	トイレ	内装の全面撤去・更新 ドライ化		床補修 壁・天井塗替え
		洗浄機能付き便座	洗浄機能付き便座 (一部)	洋式化
		既存のまま		
		既存のまま		
		既存便器のまま		

改修メニュー（機能向上）			
学習 環境	多様な学習の場	ICT	
生活 環境	トイレのドライ化	木質化	
省エネ 化	太陽光発電	LED照明	高断熱・高气密化
バリア フリー	エレベーター	多目的トイレ	スロープ 点字ブロック
防災・ 防犯	自家発電	防犯監視	マンホールトイレ

## ② 維持管理の項目・手法等

必要な予防保全を基本とし、部位ごとの計画更新年数に基づき、建築や最終改修からの経過年数及び部位の劣化状況に応じて、周期的に改修を行うものとします。

公共建築物及び建築物に付随する設備は、部位ごとに定めた計画更新年数に基づき、建築や最終改修からの経過年数や部位の劣化状況に応じて、周期的に改修を行うものとします。

また、公共建築物の機能を長期にわたり最大限発揮できるように、経年劣化による建築物への影響が大きい部位については計画的な予防保全を基本とし、経年による機能的な劣化が少ないと考えられる部位（内装等）については、事後保全として必要に応じて、その都度、改修するものとします。

まずは、これらの施設に対して施設を安全な状態で維持し、サービスを継続的に提供するために必要な最小限度の保全（以下「応急保全」という。）を図り、その後に予防保全へ移行していきます。

応急保全は、原則として建物の老朽化や設備機器の劣化に対し、建設当初の施設機能の維持を目的として行います。対象となる部位や設備機器は、施設の安全性（外壁タイルの落下、防災設備の故障など利用者の安全の確保）や長期的な施設の利活用（劣化を放置することにより将来的な補修費の増大を招くものや施設運営に重大な支障をきたすもの）の視点から下表のとおり整理します。

【応急保全項目】

項 目	安全性	施設運営に 重大な支障	将来的に 補修費増大	標準的な改修 ・更新周期(年)
屋根・防水		○	○	20～30
外壁	○		○	15～40
受変電設備		○		30
昇降機	○			30
空調熱源機器（冷凍機、 ボイラー、冷却塔など）		○		20
中央監視装置		○		15
給水装置（貯水タンク）		○		30
防火戸・防煙垂れ壁	○			—
自家発電装置・蓄電池	○			30・10
自動火災報知機	○			20
機械排煙装置	○			—
その他	施設的特性により安全性や施設運営上の重大な支障などに該当するもの			

## 2年ごとに点検を実施

通し番号	1		
学校名	北小学校	学校番号	1331
建物名	校舎①	調査日	
棟番号	001-1	記入者	
構造種別	RC	延床面積	1,681 m <sup>2</sup>
		階数	地上 3 階 地下 階
		建築年度	昭和55 年度( 1980 年度)

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトンを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ( )			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策			
	<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
0 / 100点

## (6) 長寿命化の実施計画（施設別）

### ① 改修等の優先順位付けと実施計画

#### ■学校教育系施設

今後5年間の計画は、過去5年間の投資的経費の平均2.3億円/年で平準化し、右に示す整備内容で設定します。

整備基準としては、①長寿命化改修は、構造躯体の健全性が良好な学校とし、②部位別改修は、緊急性を要する部位（学校）とし、適正配置計画も見据えながら実施します。

今後5年間の整備内容	
整備内容	
① 長寿命化改修	
部位改修	② D評価（早急な対応が必要）改修
	③ 施策への対応
④ 設備等の大きなコストのかかる更新サイクルへの対応	
⑤ その他施設整備費	
修繕費・その他経費	

### ② 今後5年間の予算配分

#### ■学校教育系施設

予算配分の考え方としては、下に示すコスト配分で設定します。なお、経常維持修繕費、光熱水費・委託費、その他施設整備費を除く工事費のうち、これまでの実績から一般財源は半分と想定します。また、財源については、国の補助金や起債、教育施設整備基金など、適切かつ効果的に活用し、財政負担を軽減します。

### 直近の整備計画

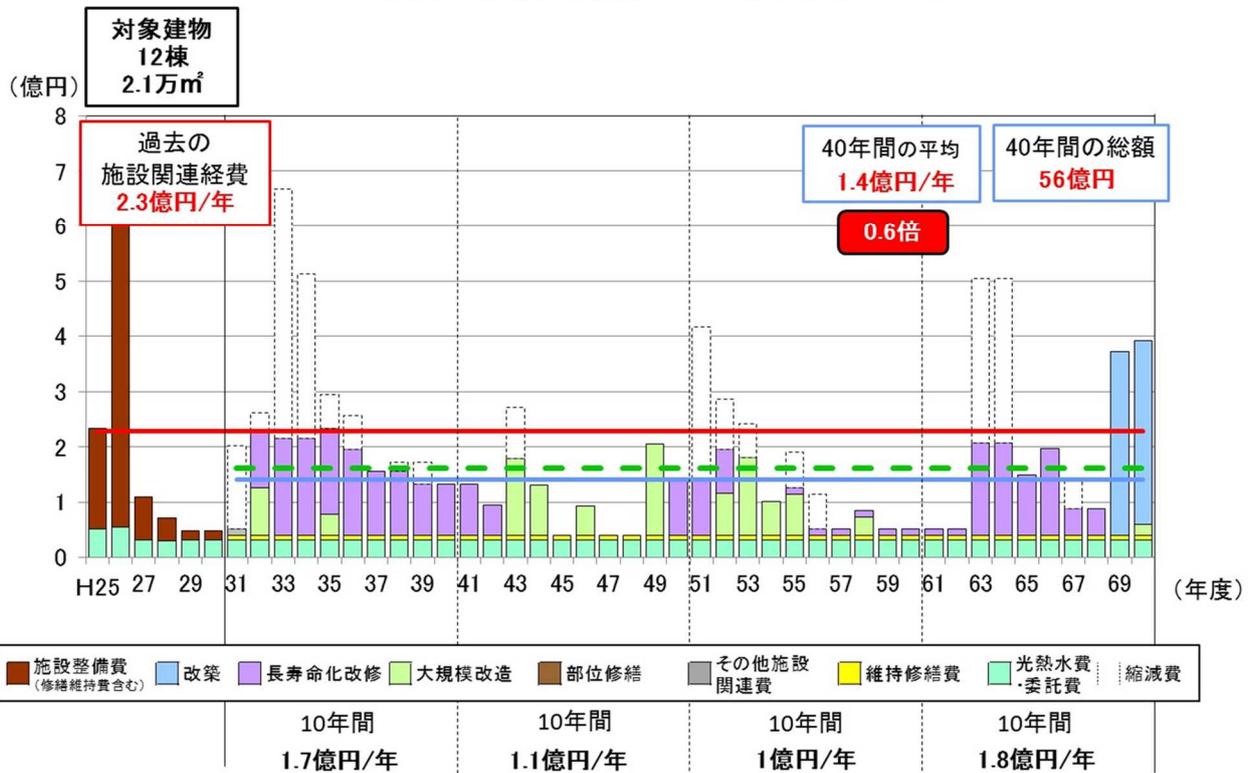
(百万円)



③ 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

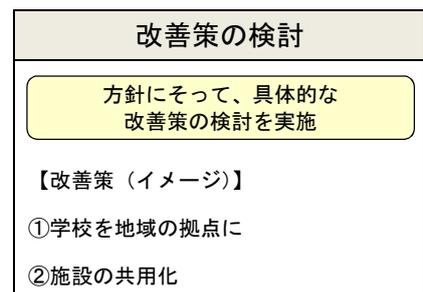
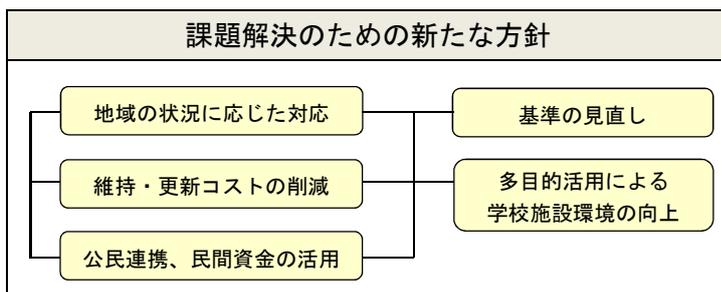
■ 学校教育系施設

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



40年間の計画は、長寿命化による維持・更新コストの総額 56 億円を平準化することとします。今後の年間の投資的経費を 2.3 億円に抑えた場合、10 年間ごとの平均額で平成 31～40 年度は 17 億円（年平均 1.7 億円）、平成 41～50 年度は 11 億円（年平均 1.1 億円）、平成 51～60 年度は 10 億円（年平均 1 億円）、平成 61～70 年度は 18 億円（年平均 1.8 億円）となります。

学校施設の維持・更新コストは、長寿命化をしても 10 年間単位で考えると、年間の投資的経費が増加すると見込まれています。児童生徒が減少する中で施設の維持・更新費用が増加するという矛盾を抱えており、①施設保有のあり方、②維持・更新コストの削減及び財源確保は大きな課題となります。個々の学校施設の長寿命化（保全計画）だけでは限界があることから、学校施設の配置や規模、運営面・活用面に及ぶ多面的な見直しが必要であり、適正化に向けた総合的な取り組みの方針を明確にする必要があります。



## (6) 長寿命化の実施計画 (施設別)

### ① 改修等の優先順位付けと実施計画

#### ■子育て支援施設

今後5年間の計画は、過去5年間の投資的経費の平均1.1千万円/年で平準化し、右に示す整備内容で設定します。

整備基準としては、①長寿命化改修は、構造躯体の健全性が良好な施設とし、②部位別改修は、緊急性を要する部位とし、適正配置計画も見据えながら実施します。

今後5年間の整備内容	
整備内容	
① 長寿命化改修	
部位改修	② D評価(早急な対応が必要)改修
	③ 施策への対応
	④ 設備等の大きなコストのかかる更新サイクルへの対応
	⑤ その他施設整備費
修繕費・その他経費	

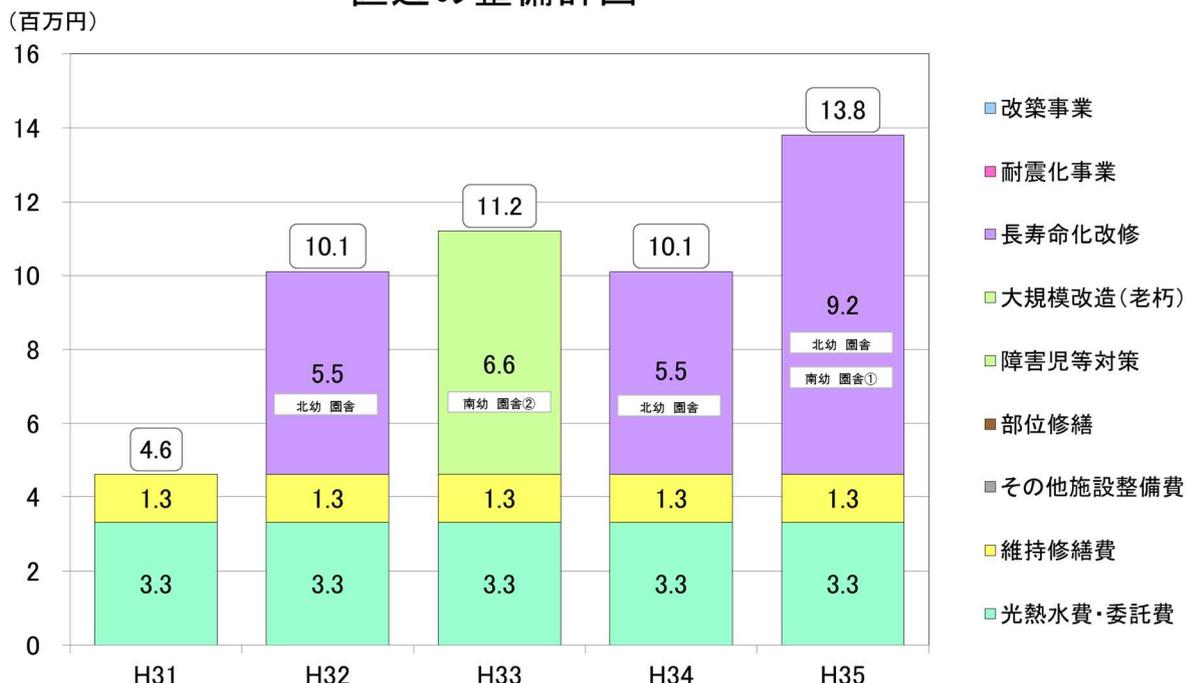
躯体への影響を優先	屋根・屋上改修
	外壁改修
バリアフリー改修	トイレ改修
上下水道改修	非構造部材
キュービクル	ボイラー・送油管

### ② 今後5年間の予算配分

#### ■子育て支援施設

予算配分の考え方としては、下に示すコスト配分で設定します。なお、経常維持修繕費、光熱水費・委託費、その他施設整備費を除く工事費のうち、これまでの実績から一般財源は半分と想定します。また、財源については、国の補助金や起債、教育施設整備基金など、適切かつ効果的に活用し、財政負担を軽減します。

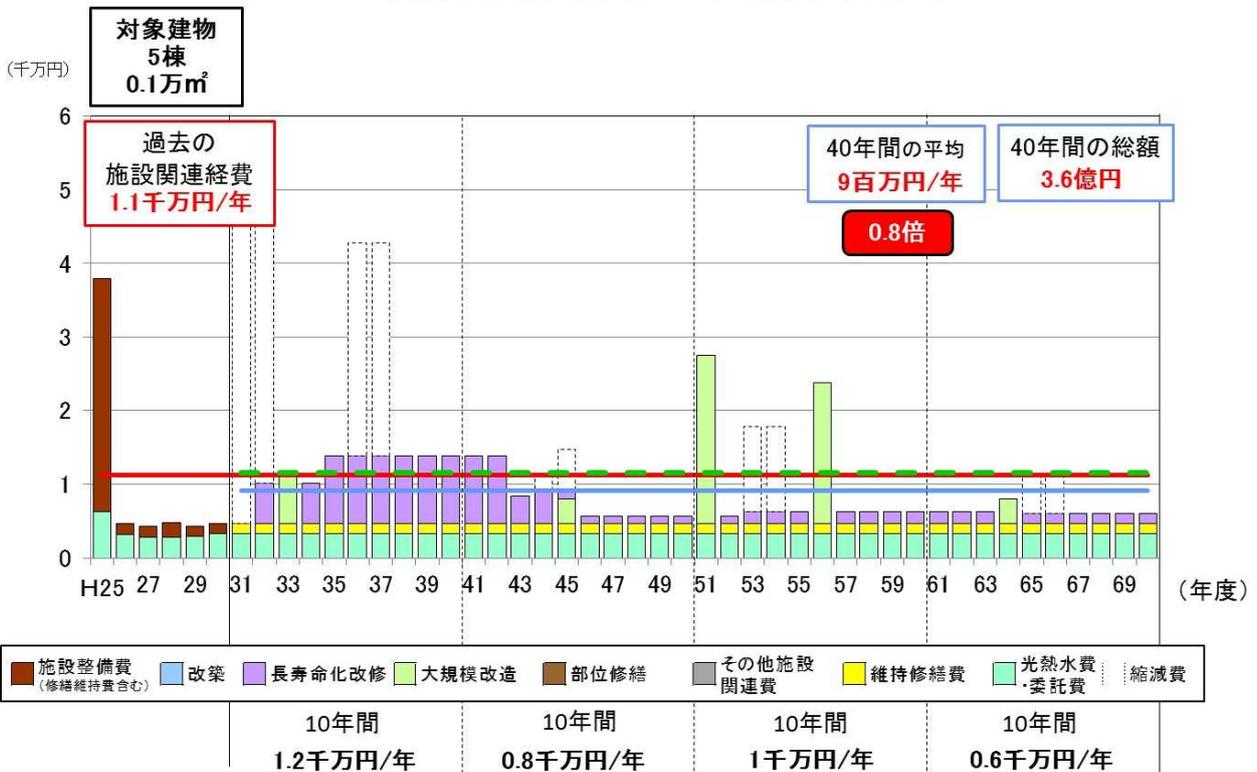
### 直近の整備計画



② 長寿命化のコストの見通し、長寿命化の効果～維持・更新の課題と今後の方針～

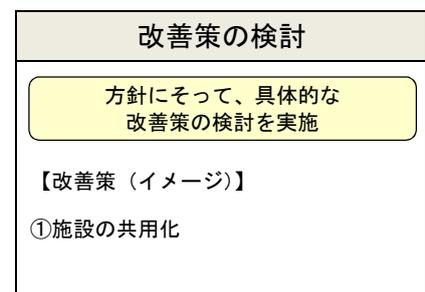
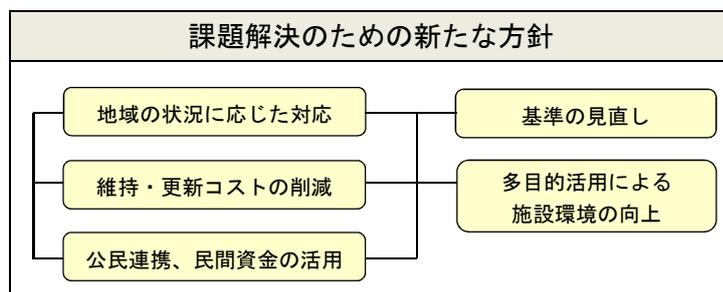
■子育て支援施設

今後の維持・更新コスト(長寿命化型)



40年間の計画は、長寿命化による維持・更新コストの総額3.6億円を平準化することとします。今後の年間の投資的経費を約1.1千万円に抑えた場合、10年間ごとの平均額で平成31～40年度は1億2千万円(年平均1.2千万円)、平成41～50年度は8千万円(年平均0.8千万円)、平成51～60年度は1億円(年平均1千万円)、平成61～70年度は6千万円(年平均0.6千万円)となります。

子育て支援施設の維持・更新コストは、今後20年間は長寿命化改修が中心となり、その後大規模改造の費用が見込まれています。園児が減少する中で平成51～60年度の年間の施設の維持・更新費用が増加するという矛盾を抱えており、①施設保有のあり方、②維持・更新コストの削減及び財源確保は大きな課題となります。規模・配置計画等の方針でも記述したとおり村立幼稚園のあり方についての検討状況に留意しながら、改修等の優先順位付けと実施計画を策定する必要があります。



## (7) 長寿命化計画の継続的運用方針

### ① 情報基盤の整備と活用

学校施設の基本情報、光熱水費をはじめとする運営経費、工事履歴や劣化情報を一元管理していきます。

### ② 推進体制等の整備

榛東村公共施設等総合管理計画のとおり計画の推進にあたっては、計画の進捗状況や維持管理状況等に関する情報を一元的に管理するとともに、庁内で連携したマネジメント体制を構築することで、実効性と持続性を確保します。

また、日常の施設管理の質を向上するため、包括施設管理業務委託による毎月の巡回点検や各種報告書を活用して不具合箇所の早期把握と対応を図っていきます。

### ③ フォローアップ

本計画は、学校施設の改修や建替えの優先順位を設定するものであり、榛東村総合計画のなかで年次及び個別の事業費を精査していきます。また、事業の進捗状況、劣化調査などの結果を反映して本計画は見直しを図るものとします。